

Utility Design Laid-Open No.S45-10303

Suction Port of Electric Vacuum Cleaner

Abstract

An improvement on a suction port of an electric vacuum cleaner provides a universal suction port which can be used for cleaning a floor, interspaces or furniture etc.

昭45-10303

㊤実用新案公報

㊤公告 昭和45年(1970)5月12日

(全2頁)

1

㊤電気掃除機の床用吸込口

㊤実 願 昭38-56474
㊤出 願 昭38(1963)7月27日
審 判 昭40-5287
㊤考 案 者 沢田勝夫
門真市大字門真1006松下電器
産業株式会社内
同 吉川宏三
同所
㊤出 願 人 松下電器産業株式会社
門真市大字門真1006
代 表 者 松下正治
代 理 人 弁理士 大島武夫 外1名

図面の簡単な説明

図面は本考案電気掃除機の床用吸込口を示す縦断面図。

考案の詳細な説明

本考案は電気掃除機に於いて塵埃を吸引すると共に塵埃を含む汚染空気を直接吸込む作用を為す吸込口の改良に関するものである。

従来電気掃除機に於ける吸込口は床用、隙間用家具用等の用途に応じて適当な形状を有するものを多種多様に備え、之に互換性を有せしめて着脱自在に掃除機本体に装着したものであるから、使用に際して用途に応じた吸込口の着脱取換えにかなり手間を取る上に多種多様の吸込口を必要とするので極めて不経済である等の欠点があつた。

本考案は上記の欠点を解消すると共に電気掃除機に於いて最もよく使用され然も相互に関連して使用される床用吸込口と隙間又は隅用吸込口を一つの吸込口本体によつて兼用できるようにしようとするものであり、以下本考案の実施例として示した図面に従つて説明する。1は吸込口本体で下面外方に開口する広口の後部吸込口2と前端に細隙の前部吸込口3を形成するように隔壁4を設けた。5は吸込口パイプで吸込口本体1の上部円筒部6に摺動自在に嵌合し、円筒部6に繞いて若干

2

広径の円筒部7を形成し、円筒部6と対面する隔壁4に同径の透孔8を設け、広口の後部吸込口2と細隙の前部吸込口3を連通した。9は吸込口パイプ5に突設した鈎部で、該鈎部9は若干広径の円筒部7中に嵌挿入され、鈎部9と広径の円筒部7端部間に圧縮バネ10を装着して、常時鈎部9を外方へ押圧するようにし、吸込口パイプ5の先端開口部11を頂度広口の後部吸込口2の上方へ連通する様に配設した。12は鈎部9が吸込口本体1より脱抜しない様に取付けた抜止具である。

本考案は上記の様な構成を採つたので、平坦な床面を清掃する場合従来の床用吸込口と全く同じ働きをするが、床面と壁面の交叉部に来ると吸込口本体の前面が壁面に接触する。この状態で後方より前方へ吸込口パイプ5を押すと圧縮バネ10は圧縮されて吸込口パイプ5が円筒部6内を摺動前進し先端開口部11が隔壁4の透孔8と嵌合する事により、吸込口パイプ5の側壁で広口の後部吸込口2を閉鎖すると同時に細隙の前部吸込口3だけに連通するようになり、塵埃は前部吸込口3からだけ急激な吸引力により開口部11、吸込口パイプ5を通り掃除機本体の集塵袋へ吸引され、隅部又は隙間部の清掃を良好に行い得る。

上記の様に本考案は若干広口の後部吸込口と細隙の前部吸込口を備えた一つの吸込口本体により唯後方より前方へ吸込口パイプ5を押圧摺動させることにより床用吸込口又は隅用吸込口として使用し得るものであり、掃除の操作上、手等を触れずに両者の切換えが可能であり、集塵効果も優れ、吸込口の構成が簡潔で製作も簡単となり掃除機の使用上極めて便利であり、実用上の効果が大きいものである。

実用新案登録請求の範囲

吸込口本体の下面に前部吸込口と後部吸込口を形成する様隔壁を設け、該隔壁には吸込口パイプと同径の透孔を設け、吸込口パイプは吸込口本体に嵌挿入されて摺動可能にバネを介して弾着し吸込口本体の前面に壁面その他前方進行障害物に当接した場合更に吸込口パイプをバネに抗して押

(2)

実公 昭45-10303

3

4

圧摺動させることにより後部吸込口を閉塞し、前部吸込口だけを連通するように設けた電気掃除機の床用吸込口。

引用文献

実 公 昭36-2751

